

「社会教育×デジタル～地域の実態に合った生成AIの活用方法について学ぶ～」

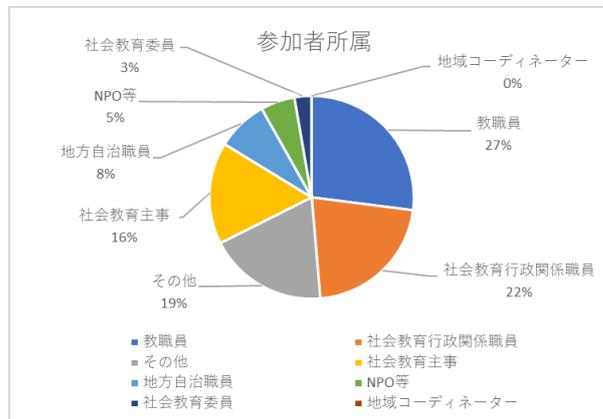
事業の内容

1 日時 令和7年11月21日（金）

14:30～16:40

2 場所 Web会議システム zoom

3 参加者 51名



I プログラム

14:20 14:30 14:35

15:50 16:00

16:30 16:40 17:00

入室	開会	講義	休憩	感想交流	閉会	個別相談 (事前申込)
----	----	----	----	------	----	----------------

講義：「社会教育で学ぶ！使う！生成AI～デジタル活用を通じた人づくりと地域づくり～」

講師：国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

主幹研究員／研究プロデューサー 小林 奈穂 氏（R7年度社会教育士称号取得）

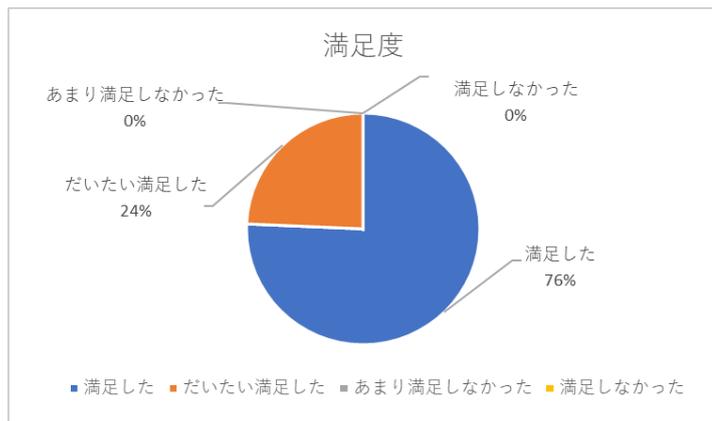
【内容】

「誰一人取り残されない」社会の実現に向けて、デジタルリテラシーやデジタルデバイド等の基本的な用語の解説や、デジタル活用の動向・国の方針を把握することを通して、デジタルに関する全般的な知識を身につけた。また、社会教育を通じて、生成AIの善き使い手になるための知識を深めるという視点のもと、多世代交流や高齢者教育等の社会教育事業の立案プロセスで生成AIを活用する方法について理解し、社会教育を軸とした様々な活動で、デジタルを活用する展開の見通しを持った。

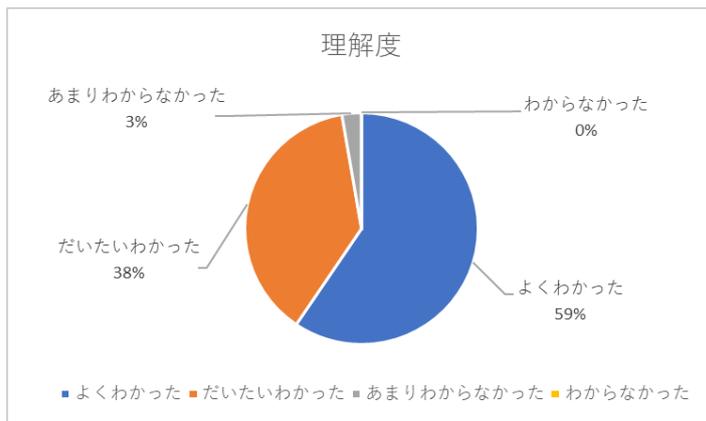
講義の後半では、参加者自身で生成AIに指示を出し、社会教育事業の企画から評価までの全体プロセスを体験した。講師のデモンストレーションを画面共有し、それぞれのプロセスでどのように生成AIを活用できそうか参加者の方々と体験しながら考えた。

II アンケート結果

1 満足度

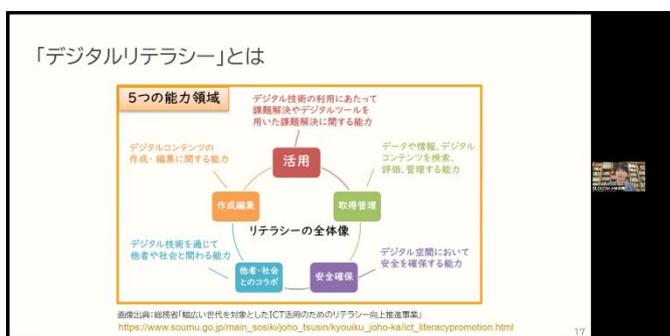


2 理解度



Ⅲ 参加者からの声

- ・生成 AI の基本的な仕組みから、活用方法まで幅広く学ぶことができ、大変有意義な時間となりました。生成 AI を活用するリスクを十分に理解し、今後は生成 AI を社会教育の手段の1つとして、生成 AI とともに事業を行なっていきたいと考えております。
- ・社会教育の手法も、こんなに変化しているのだと、目からウロコ状態です。皆さん仕事で生成 AI を使用しているという話も聞けて、今後は自分の仕事にも取り入れたいと思います。
- ・生成 AI に投げかけるプロンプトの例を見て、詳細な指示を冒頭の的確に入力することの大切さがよくわかりました。早速実践してみたいと思います。
- ・講演の内容としては、使ったことがある人も、まだ慣れていない人も、利用できると感じられる内容でとても良かったです。仕事やプライベートで日頃から生成 AI を使用しているものの、今回ご講演いただいたことで、活用の幅が広がると感じ、とても良い時間でした。



- ・デジタルの活用は地域づくりにつながるということがわかりました。生成 AI を上手に活用して、社会教育事業や地域活動に取り組んでいきたいです。
- ・交流の中で、地域格差や高齢化により活用がなかなか進まないといった課題が共有できました。このことは、学校教育、社会教育を進める上で大事な認識だと思えます。子どもたちの AI の活用が進む中で、大人や社会がどのように対応していくか考えることができました。
- ・生成 AI は、プライベートで触れるものの、クリエイティブな使い方はしたことがありませんでした。この研修を通じて、効率的かつクリエイティブな事業の進め方を体験できました。
- ・生成 AI は、あくまでも補助ツールであり、主体は自分だということを強く認識しました。私は教員として、生徒会活動や授業で生成 AI をうまく活用する方法を知りたいと思っていましたが、企画を生成 AI に考えさせることが、生徒会活動でも活用できると思いました。参考にさせていただきます。
- ・Gemini を使えば事業計画の立案ができてしまうということは、言い換えるとプロンプト次第で授業の単元計画と略案が作れてしまうことに驚きました。

Ⅳ 担当者からひとこと

講義では、デジタルに関わる基本的な知識の理解を深めるとともに、生成 AI を活用していく中で、「ハルシネーション」や「バイアス」といった、誤った情報が出ることや処理の仕方に偏りが出ることがあることなど、様々なリスクについても知るができました。そして、様々な活動を推進していく中で、自分自身が主体であるということ意識し、デジタルツールはあくまでも補助的に活用することが重要であるということ改めて再認識することができ、大変有意義な時間になりました。

また、地域の実態に合ったデジタル活用の実践事例から、社会教育だけでなく、学校教育や地域活動など、様々な分野で汎用的にデジタル活用を展開できる可能性について、考えを広げることができました。この度は、北海道各地からご参加いただき、誠にありがとうございました。